

化学工学会エネルギー一部会熱利用分科会 第22回研究会  
「京都大学原子炉実験所見学と、原子炉の安全管理と医療利用、  
電力需給に関する講演」  
開催報告

日時：平成23年9月27日(火)

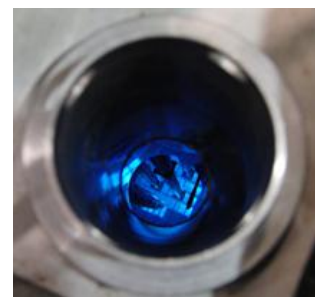
平成23年9月27日13:00より、京都大学原子炉実験所（大阪市泉南郡熊取町）にて、58名の方々にご参加いただき第22回（平成23年度第1回）研究会を開催しました。

前半の見学会では、研究炉・炉室で医療照射設備や制御室、放射線を利用した実験施設を見学し、更に、炉心の上部、炉頂より炉内のチェレンコフ光を見学しました。また、所内で出た放射性物質を含んだ水を処理する廃棄物処理棟では、化学工学会からの参加ということで、処理方法について特に詳しく説明していただき、参加者からも活発な質問がありました。



ご講演中の（左から）齋藤先生，田中先生，古山先生

後半の講演会では、原子炉実験所の齋藤泰司先生に研究炉運用の経験に基づいた原子炉の安全管理をめぐる実例と考察を、田中浩基先生に中性子線を用いた医療照射について、九州大学の古山通久先生に実装可能な技術から考えるポスト震災の電力供給と持続可能なエネルギー利用社会の展望をご講演いただきました。ご講演はどれも熱のこもった真摯な内容で、講演予定時間内には質疑が付きず、その後の意見交換会に持ち越しての語り合いになりました。



原子炉内で青く輝く  
チェレンコフ光

意見交換会には同実験所の森山所長をはじめ職員の方々も多数ご参加くださり、実験所見学や講演についての感想、現下のエネルギー問題など幅広いテーマについて話し合い、交流を深めることができました。

（第22回研究会担当幹事 藤岡恵子）



講師を囲んで参加者の皆様